

2 学期始業式に次の話をしました

- 1 自分の体にチャイム(規則的な生活)を取り戻せ！
- 2 自分ひとりぐらいいいやら…が集団の規律を壊す。

上記2点について話す…予定でした。しかし、職員朝礼後の掃除時間帯に校内で行き交う生徒の挨拶がとても気持ちがいいことに感動しました。特に3年生の挨拶がすばらしい。何人もの3年生が私に挨拶してくれましたが、挨拶する表情にメッセージがあります。

「2学期がんばります」「気持ちよく登校できました」等の気持ちが『おはようございます』の言葉と表情に込められているのです。そのにこやかな表情でわかるのです。非常にさわやかな気持ちで始業式に臨むことができました。で、急きょ始業式の校長講話を「気持ちのいい挨拶をありがとう」の1点のみに変えました。



しかし、物事は予定どおりいかんもんです。始業式が始まりました。まず、校歌斉唱です。4月当初から感じていたことですが、声が小さい。とにかく小さい。小さいというより出ていない。驚いたことに、全く口を開けない生徒もかなりいる。再度予定変更して2番目の講話もすることにしました。

<講話2>自分ひとりぐらいいいやら…の気持ちを持つな！

ある村で、それぞれが持ち寄ったお酒を大鍋に集めて宴会をすることにした。ひとりの男が自分ひとりぐらいいいだろ（わからんだろ）と思い、酒ではなく水を持って行って何喰わぬ顔で大鍋にあけた。いよいよ宴会が始まった。集まった村人たちが飲んだのは酒ではなく全くの水だった。どんな思いで村人たちはこの宴会を楽しんだのだろうか。